

福井・大森鐘島遺跡

大森鐘島
おおもりかねしま

- | | | | | | | |
|---------------|--------|-------|-------|-----------------|--------------|----------------|
| 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 遺跡及び木簡出土遺構の概要 | 遺跡の年代 | 遺跡の種類 | 調査担当者 | 発掘機関 | 調査期間 | 所在地 |
| 遺跡及び木簡出土遺構の概要 | 七〇十一世紀 | 集落跡 | 仁科 章 | 福井県教育庁埋蔵文化財センター | 一九八一年（昭52）九月 | 福井県丹生郡清水町大森字鐘島 |

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

大森鐘島遺跡は、福井市街地から南西へ約9km、東大寺領道守庄比定地より約5kmに位置している。木簡の発見はまったくの偶然であった。志津川の河川改修によつて排土された土の中から多くの須恵器片とともに発見された。通報を受けた時は、川の中でもあるので、流れてきたものと考えたが現地踏査の結果、現在の河道は戦前につけ替えたものであり、遺跡の上を現在の川が流れそれを改修した結果出土したことが判明した。ところがこの河川改修とは別に、川に隣接する西側一帯の水田を土地改良する予定になつていたため

多かつた。遺跡の範囲は約一万坪に及ぶものである。

遺跡の性格として、墨書土器や綠釉の耳皿等の出土から、一般的な集落とは異った性格を持つものと考えられ、鐘島や明寺等の地名から、また墨書の真成から寺に関係するものとも考えられている。

8 木簡の釈文・内容

(仁科
章)